雨水タンク200L

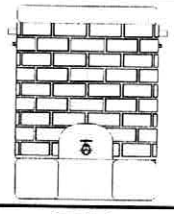
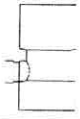
施工説明書

○雨水タンクをお買い上げいただきまして誠に有り難うございます。
○この施工説明書をよくお読みになり、内容をよくご理解された上で施工ください。
○ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
○同梱されている取り扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。

サンコー 三甲株式会社

○梱包内容確認

・開梱時に種類と数量を確認してください。
・商品に破損や異常がないか確認してください。
・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には購入された販売店又は三甲㈱までご連絡ください。

名　称	姿　図	数　量
タンク本体 （水栓付き）		1
集水継手 （キャップ付き）		1

名　称	姿	数　量
ホース		1
ホースバンド		2
取扱い説明書 施工説明書		各1

○施工時必要工具及び部材をタンクの取付け前に準備ください。

表-2　施工時必要工具・部材一覧

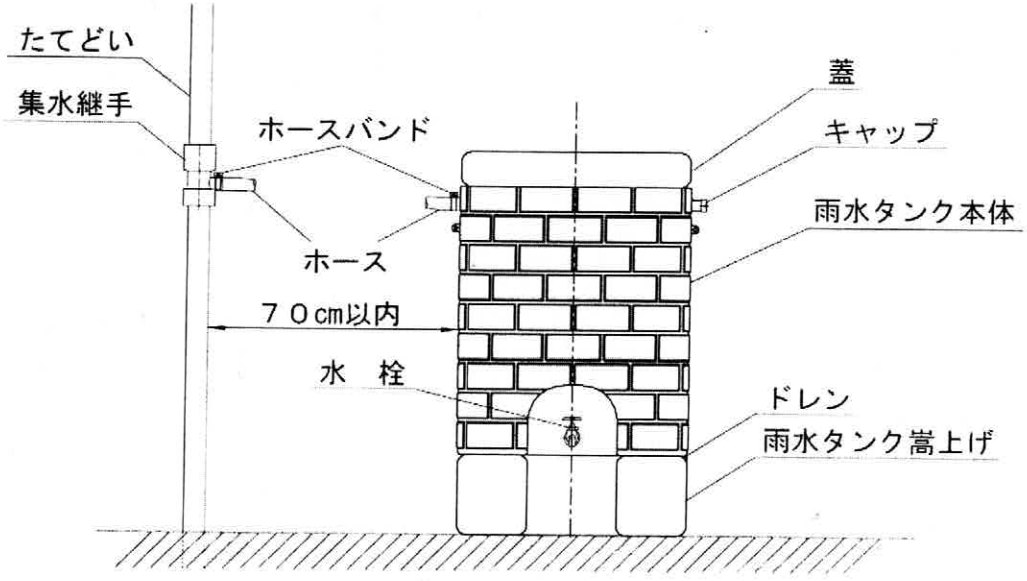
		工　具	仕　様	個 数	用　途
工具	1.	ノコギリ		1本	たてどい切断用
	2.	ペン（油性）		1本	たてどい切断時のマーキング
	3.	粘着テープ		1本	たてどい切断時の目安とかん合調整
	4.	1mの金尺（または棒）		1本	たてどい切断基準線の確認
	5.	ものさし	150mm程度	1本	たてどい切断位置の寸法測定
	6.	カッターナイフ		1本	たてどい切断後の端面処理
	7.	手袋（軍手）		1組	作業時の保護具
部材	8.	コーキング材		20g 程度	集水口とキャップとの止水用 （粘着テープと併用すると効果的です。）

施工

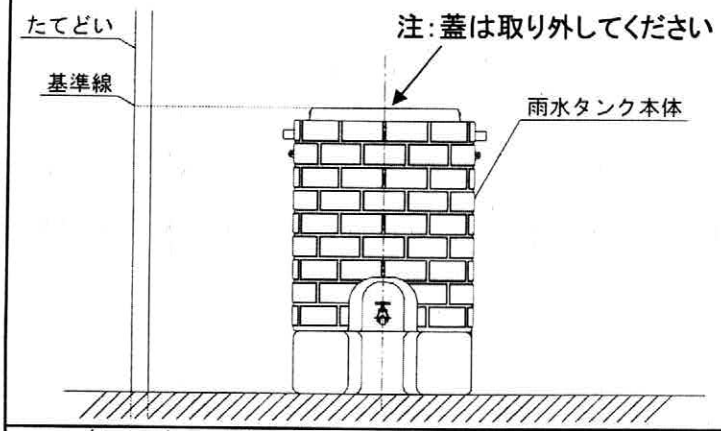
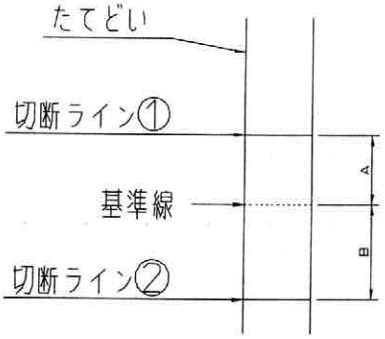
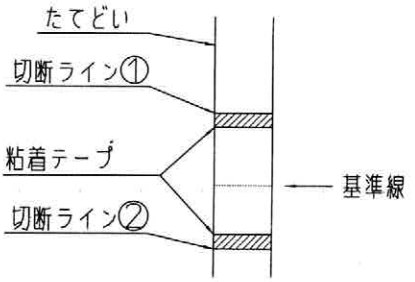
施工可能なたてどい

・本製品は丸たてどい60と角たてどい（注：一部対応不可品有り）に標準対応しております。
→丸たてどいの場合糸を一周巻いてその長さが185～195mmであればサイズ60です。
→角たてどいの形状は、別紙-1を参考にしてください。

施工完成図

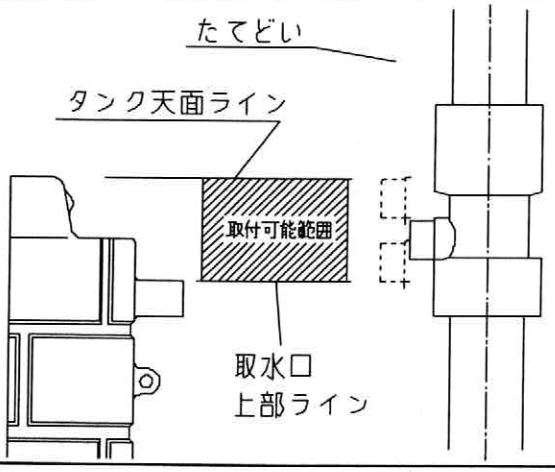


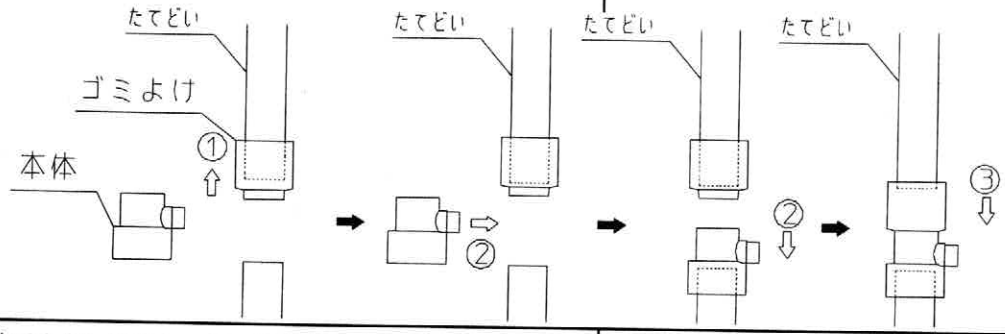
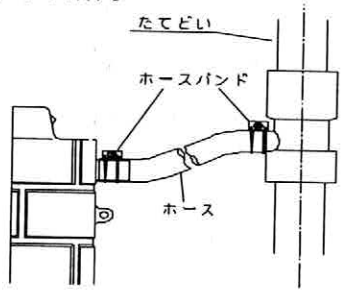
施工手順

取付け手順	ポイント
(1) 本体内部から付属部品を取り出します。	
(2) 雨水タンクの設置場所を決め、地面を水平に踏み固めます。沈下等の恐れがある場合は、コンクリート平板等の基礎を施してください。(タンクが満水になると重量が約250kgになります。)	・雨水の取水は左右どちらからでも可能です。 ・たてどいからタンクまでの距離は付属のホース(70cm)が届く範囲とします。 ・タンク本体は、壁面から5cm程度離して設置してください。
(3) たてどいに基準線をつけます。このときタンクの蓋は取り外した状態で行ってください。タンク本体上面と同じ高さの位置を基準線としてマジックでたてどいに印をつけます。 	・1mの金尺または棒をタンク本体の上面にのせて作業を行うと位置が確認し易いです。
(4) 各メーカーのたてどいに対応した寸法でたてどいを切断してください。たてどいの切断寸法は、別紙-1を参照してください。切断後、たてどいの端部をきれいに仕上げてください。 	・たてどいはノコギリで切断します。 ・印を付けた部分にテープを一周貼ると、目安になり切断作業がやり易くなります。 

重要ポイント!!

たてどいの切断位置を間違え、集水継手のホース取付部がタンク天面ラインよりも上になると、タンクが満水になった時に雨水がタンク上面からあふれます。また取水口上部ラインよりも下になると、雨水がタンク内に入って行きません。



(5) ・集水継手の取り付けを行います。 ①ゴミよけを上側たてどいに入れます。 ②本体を取付けます。このとき、ゴミよけを上側に移動させ本体を横から入れ、下げて下側のたてどいにセットします。 ③ゴミよけを下げ本体にしっかりと取り付けます。 	・集水継手は掃除できるよう、たてどいと接着しないでください。
(6) 集水継手とタンクをホースで連結し、ホースバンドで止めます(2ヶ所)。 	・ホースが長い場合は、たるみがないようにホースを切断して使用ください。 ・ホースがねじれないように注意してください。 ・集水継手が傾かないように注意してください。 ・集水継手のホース接続部の位置が取付可能範囲内にあるか確認してください。
(7) 取水側と反対側の取水口に、止水用として集水継手に付属しているキャップを取付けます。	・取水口とキャップとのかん合が緩い場合は、取水口に粘着テープやシール材で調整を行い止水してください
(8) 本体に蓋を取り付けて完成です。	・タンクに水を入れ水漏れ等がないか確認してください。

⚠注意

■ 作業上の注意

- 雨水ﾀﾝｸの持ち運び時、ﾀﾝｸと架台の固定作業時、たてどいの切断作業時は必ず手袋(軍手)を着用してください。
- 商品に油や洗剤、ｼﾝﾅｰ等の有機溶剤をこぼした場合、完全にふきとってください。
- 指定の部品以外は使用しないでください。
- 施工後、ｶﾞﾀつきやｷｬｯﾌﾟなどが閉まっているか、その他使用上危険な箇所などがないか点検してください。
- 商品の外観に有害なｷｽﾞ、ﾍｺﾐ等がないか確認してください。
- 取り扱い説明書に基づき、商品の使い方や保守・点検方法およびﾒﾝﾃﾅﾝｽ方法を必ず施主様へ説明してください。
- 改造などは絶対にしないでください。
- 軟弱地盤や不特定多数のﾕｰｻﾞｰが貯留水を使用する場所に設置する時などには転倒防止策として鎖(市販品)を本体のﾌｯｸ掛け(左右)に取り付けるなどの措置を施してください。

■ 保管、取扱い上の注意

- 商品の取扱いは必ず手袋(軍手)を着用してください。
- 雨水ﾀﾝｸは上積みしすぎると荷くずれをおこし、ｹｶﾞをする危険性があります。3段以上は積まないでください。また、横積み状態での保管は避けてください。
- 雨水ﾀﾝｸはﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製ですので火気を近づけたりしないでください。熱による変形や着火すると重大事故発生の可能性があります。
- 商品の放り投げは人にあたってｹｶﾞをさせたり、商品が破損する危険性があります。絶対に行わないでください。

サンフー 三甲株式会社

本　社	〒501-0294 岐阜県瑞穂市本田474-1	TEL(058)327-3535	FAX(058)327-6691
東京支店	〒135-0034 東京都江東区永代2-11-2 三甲東京本社ﾋﾞﾙ	TEL(03)3630-3535	FAX(03)3630-3693
大阪支店	〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目3-8 三甲大阪本町ﾋﾞﾙ	TEL(06)6268-3535	FAX(06)6268-5885
東北支店	〒984-0051 仙台市若林区新寺3丁目4-1 三甲仙台ﾋﾞﾙ	TEL(022)256-3535	FAX(022)256-3538
名古屋支店	〒460-0012 名古屋市中区千代田3丁目3-1 三甲名古屋ﾋﾞﾙ	TEL(052)322-3535	FAX(052)331-6765
中国支店	〒733-0037 広島市西区西観音町5-27 三甲広島ﾋﾞﾙ	TEL(082)297-3535	FAX(082)297-3538
九州支店	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-16-28 三甲福岡ﾋﾞﾙ	TEL(092)414-3535	FAX(092)411-6959

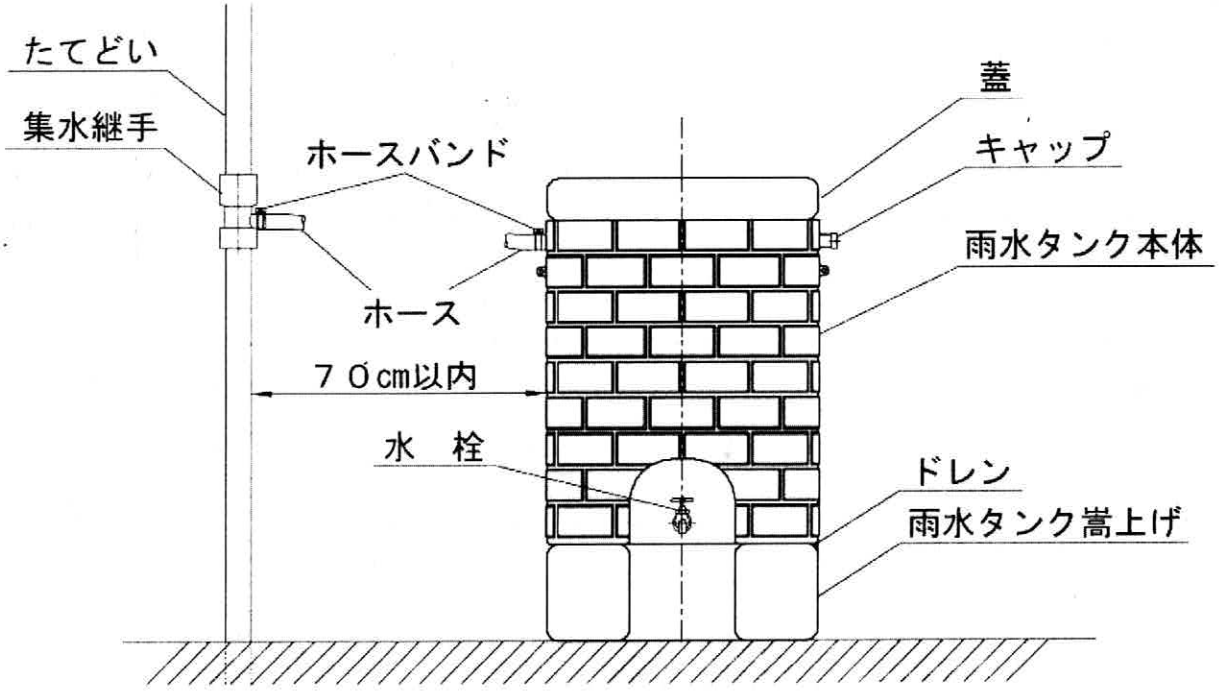
施主様

雨水タンク200L　取扱い説明書

このたびは、雨水タンク200Lをご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この商品を正しく安全にご使用いただくために、この取扱い説明書をよくお読みください。
長くご愛用していただくためにも、下記の要領で定期的なメンテナンスをお願いいたします。

この取扱い説明書は、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

1.各部の名称



2.使用上のお願い

⚠警告

- 雨水タンクの水は飲めません。絶対に飲まないでください。
- 雨水以外のものを貯留しないでください。
- 雨水タンクの上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。転倒して重大事故につながる危険性があります。

⚠注意

- 雨水タンクの上に重量物や不安定なものを置かないでください。落下して重大事故につながる危険性があります。蓋の許容重量：15kgまで
- 台風等の強風発生の恐れがある時は、強風による転倒防止策として雨水タンクの中に半分以上の水を入れておいてください。
- 改造などは絶対しないでください。
- タンク周辺での火気の使用はおやめください。
- タンクの安定が悪い場合や小さなお子様が周辺で遊ばれる箇所に設置されている場合は、市販のクサリを購入いただきタンク本体のフック掛けを利用して壁などに固定してください。

3.お手入れについて

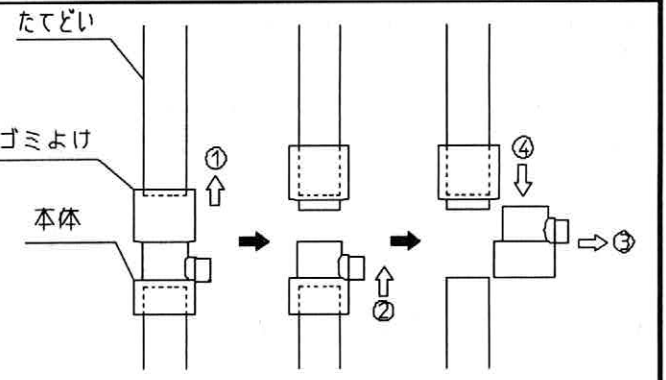
●集水継手、タンク外部・内部は定期的に点検清掃を行ってください。

●集水継手より水があふれる場合には、ごみ詰まりの可能性がありますので集水継手の点検清掃を行ってください。

タンク外部・内部のメンテナンスの仕方

	作業手順	注意点
1.	汚れについては水洗いで結構ですが、ひどい汚れの場合は中性洗剤を柔らかい布やスポンジに含ませて洗った後に、水で十分に洗い流してください。タンク内部の清掃時には、タンク側面のドレン部から水を抜いてください。	・金ブラシ、金属タワシは表面を傷付けますので使用しないでください。 ・作業終了後ドレン部が確実に閉まっているか確認してください。

集水継手のメンテナンスの仕方

	作業手順	注意点
1.	集水継手についているホースバンドを取り外し、ホースを外してください。	 集水継手の取り外し方
2.	ゴミよけを上にスライドさせ（①）、本体も上にスライドさせ取り外します（②、③）。右図参照	
3.	ゴミよけを下にスライドさせ（④）取り外したあと、溜まった落ち葉等を取り除いてください。	
4.	取り外した手順の逆で取り付けてください。	

たてどい切断寸法一覧

別紙-1

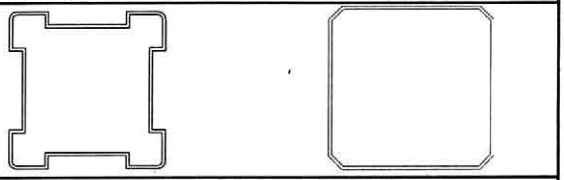
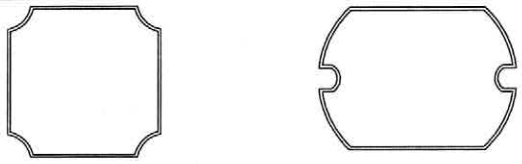
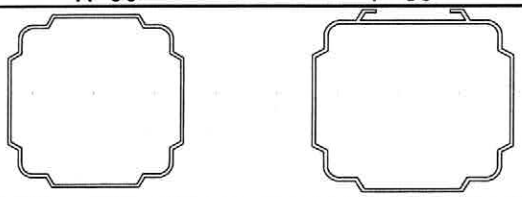
現在、施工されているたてどいのメーカー名並びに形状を確認してください。図は、たてどいの断面形状を表しています。実際の外観とは異なりますので注意してください。
メーカー名は、たてどいもしくは部品に記号で表されています。下の表を参考にしてください。
たてどいの形状がわかりましたら、それにあった切断寸法でたてどいを切断してください。
注意：集水継手とたてどいは接着しないでください。メンテナンスが出来なくなります。

丸たてどい60の場合

メーカー名	切断寸法		備考
	A	B	
各社共通	50	70	糸を一周巻いてその長さが185～195mmであればサイズ60です。

角たてどいの場合

単位：mm

メーカー名	記号	呼称	切断寸法		断面形状
			A	B	
タキロン㈱ takiron		U60	35	85	U60 T30 
		T30	50	70	
積水化学工業㈱ SEKISUI	's'-lon	Y60	50	70	Y60 MY60 
		MY60	35	85	
松下電工㈱ National		PC30	35	85	PC30 S30
		S30	50	70	
東洋化学㈱		K-35	50	70	K-35 F-35 
		F-35	35	85	
三菱樹脂㈱		V・60	50	70	V・60